

■ 私とピュアハウスとの出逢い

一関支店:合川千春

とりわけ興味があった訳でもなく、まして石の力など最初は全く信じていませんでした。。

そんな私にピュアハウスとのキッカケを作ってくれたのは娘でした。

でも、初めて作ったブレスレットはお出かけ用のアクセサリーとして、しまっておく事が多く3回...4回使ったのでしょうか？その後紛失してしまいました(泣)

ちょうどそんな時、主人の癌が見つかってしまい。

度重なる再発に心が折れそうになっている主人の気持ちが少しでも落ち着くように… あわよくば癌が無くなってくれればと、わらをも掴む想いで再度石のお守りを作ってもらいました。

その後の手術の結果は何とビックリ！「良性の腫瘍」だったと言われました。

これまでの診断は何だったの？！

その時の石の変化は素人の私にも分かる程、元の姿が分からない程に石が変化していました。

その頃から徐々に自分もお守りとして身につけるようになり、講話会にも参加するようになりました。

お店に通う回数が増えて行くのと同時に気持ちが色々な面で楽になっていったのを今でも覚えています。

居心地の良いピュアハウスに自然に友達を連れて行くうちに、ひよんなきっかけで私の自宅で講話会をしてもらう様になっていました。

社長の話を聞いた後みんなが笑顔になって行くのが嬉しく「一関にもピュアハウスがあったら、もっと沢山の人が喜んでくれるだろうな」という想いから一関支店の誕生へと繋がりました。